

寿量の会会則

① 目的

広く社会の人々が、大自然、人々の営み、ご先祖さまや家族に感謝し、寿量の祈りを行ない、信頼し合える社会をめざし、安らかで心豊かに生活することを目的とする。

寿量の祈り [三つのありがとう]

- | | | |
|----------------|-------------|----|
| 一 大自然 | ありがとうございます。 | 合掌 |
| 一 社会の皆さん | ありがとうございます。 | 合掌 |
| 一 ご先祖さま、家族の皆さん | ありがとうございます。 | 合掌 |

② 事業

- (1) 社会の人々が寿量の祈りを行い、「おかげさま」、「ありがとうございます」の感謝の気持ちを持てるよう、広く社会に広告する。
- (2) 会員を募り趣旨を広め、信頼し合う社会をめざし、安らかで心豊かな社会にしていく。
- (3) 「寿量の塔」を祈りの場とし、目的達成の為の集会を開く。
- (4) 寿量の塔周辺を整備し、清浄な「寿量の杜」を創る。将来は広く中伊豆地区に美しく森を作っていく。
- (5) 寿量の杜づくりに、会員は出来るだけ参加し、大自然を感じ精神の浄化に努める。
- (6) 日々寿量の祈りを行いその証として一日十円貯金し、年間貯金約三千六百円のうちの三分の一を寄付してもらおう。残りの三分の二は各自の判断で、社会浄化をしている団体等に支援する。
- (7) 会員で希望すれば寿量の塔で永代供養する。
- (8) その他、目的達成の為の事業を行う。

③ 組織

会長 1名、副会長 若干名、理事 若干名、事務局員 若干名、
この他に、会の目的を遂行するため、必要な組織を作っていく。

④ 事務局

事務局は法住寺（伊豆市下白岩五六三番地）に置く。

⑤ 会員

「寿量の祈り」を行い、一日十円貯金の内、千二百円を寄付してくれた方を会員とする。

⑥ 事業費

事業遂行の費用は、会員からの寄付金をあてる。

⑦ 寿量の塔、寿量の杜

法住寺所有の寿量の塔を共用させてもらう。また塔周辺の法住寺所有の森林、境内地を「寿量の杜」として、法住寺護持会と協議して整備し、安らぎの場、魂の浄化する場を創っていく。

⑧ 永代供養

会員の中で、寿量の塔での永代供養を希望すれば優先的に供養する。

永代供養は、法住寺が責任をもち誠実に供養する。その詳細は別途に定める。

付則 この会則は平成二十二年四月一日から施行する。